

災害救援 復興支援

熊本

2016年4月14日21時26分にマグニチュード6.5、4月16日1時25分にマグニチュード7.3の熊本地震が発生し、益城町や西原村では震度7の揺れに襲われました。死者数204人、負傷者2,671人、家屋被害は全半壊合わせると41,000棟を超えます。(熊本市ホームページによる)

JHP熊本、佐伯蘭子理事を中心に地震発生直後から支援活動を行ってきました。JHP東京事務局だけでなく、岡山県や三重県在住のOBも加わり、行政の手が届きにくい認可を受けていない避難所でも活動しました。



活動の概況(2017年3月末現在) (下記に加え、年間に亘り熊本在住理事が活動)

活動期間:2016年4月18日～現在

派遣人数:延べ 9人

活動日数:延べ16日

派遣回数:4回

活動場所:熊本県熊本市、益城町他

活動内容:救援物資の購入・配布(ブルーシートや土嚢袋、ロープ、水、インスタントラーメン等)、炊き出し、倒壊家屋の片付け・ゴミの搬出作業



募金報告(2017年3月末現在)

合計募金金額 2,008,861円

ネパール

2015年4月に発生したネパール地震被災者支援活動を2015年度に引き続きその後寄せられた義捐金により 現地NGOラルパテネパールの協力を得て2016年にも実施しました。

支援の対象は震源地に近い山岳地帯からカトマンズ郊外に逃れてきてナガルヤン高校に通学している小学生から高校生までの生徒たちです。

配付したのはセーターと帽子のセット301セット、ほかに鉛筆、製図用具、辞書、定規、ペン、練習帳、地図や人体図などの学習チャート等。セーターは生徒一人一人に手渡し、学習用具は学校へ渡しました。



生徒をはじめナガルヤン高校の関係者がこの支援に大変感謝していたのはもちろんですが、この支援活動は山岳地帯から移り住んできた貧しい家庭の生徒を対象としており、このような生徒に対する社会の関心を改めてひきつける効果をもたらしました。

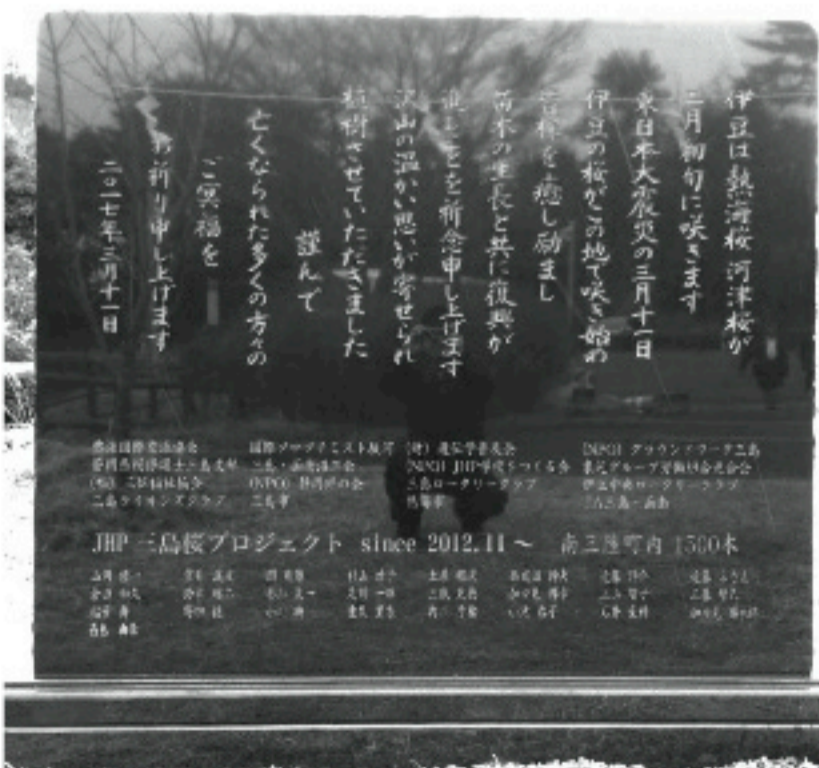
東日本

2016年度は東日本大震災で被災した宮城県南三陸町にて、JHP三島、山岡修一理事を中心に桜植樹活動を継続するとともに、復興祈念ボランティア&被災地視察ツアーを行いました。

復興祈念桜植樹

2012年11月に開始した桜植樹活動は、4年半9回で1500本を南三陸町に植えることが出来ました。

また、1500本を記念して南三陸町に、この活動に賛同いただいた方々のお名前を刻んだ石碑が完成しました。



復興祈念ボランティア&被災地視察ツアー

2016年4月と2017年3月の2回実施。JHP会員は13名参加しました。



活動の概況(2017年3月末現在)

活動期間:2011年3月19日~現在

活動日数:延べ 1824日 (2016年度4日)

活動場所:宮城県本吉郡南三陸町

派遣人数:延べ 440人 (2016年度13名)

派遣回数:72回 (2016年度2回)